6 軒天

6－3 納まり詳細図

5）軒天12トリスタ標準施工法 QF030RS－0250

●下地組み

野縁平行組：軒の出方向は500㎜以下の間隔で野縁（幅：40×高さ：30㎜以上）を組みます。

野縁梯子組：軒の出方向は500㎜以下、幅方向は455㎜以下の間隔で野縁（40×30㎜以上）を組みます。

軒天材の左右接合部は野縁2本組とします。

軒の出が500㎜を超える場合、軒の出@500㎜以下に吊り木（吊り木@1000㎜以下）で吊ります。

●下地の不陸は3㎜以下に調整します。

※ボルト頭や下地組みの不陸・ねじれなどは仕上がりに影響するばかりでなく、無理な施工から軒天材の破損をまねくおそれがあります。

●軒天材の切断はオールダイヤモンドチップソーを使用します。

●軒天材の留め付けは専用釘（ステンレスリング釘φ2．5㎜×45㎜）を用い、

野縁平行組：軒の幅方向は225㎜以下の間隔（910幅に5本留め）で留め付けます。

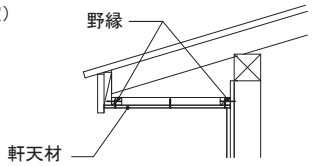
軒の出方向は野縁ごとに留め付けます。

野縁梯子組：軒の幅方向・出方向ともに225㎜以下の間隔で留め付けます。

●軒天材端部の釘打ち位置は端あき20～35㎜とします。

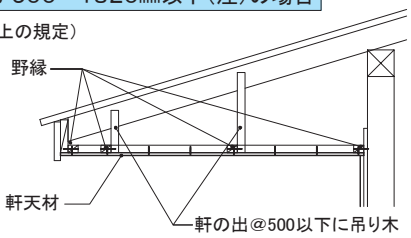
軒の出が83（壁勝ち）～500㎜以下の場合
軒の出が58（軒勝ち）～500㎜以下の場合

（防火認定上の規定）

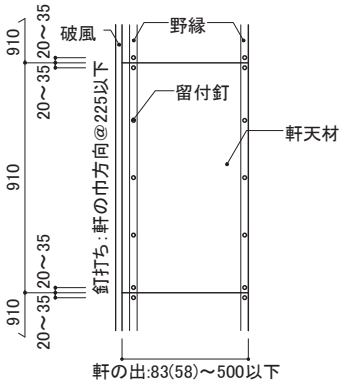


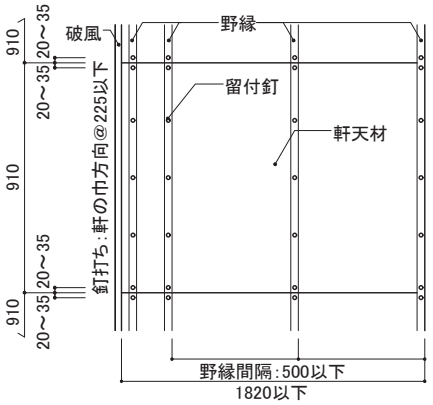
軒の出が500～1820㎜以下（注）の場合

（防火認定上の規定）

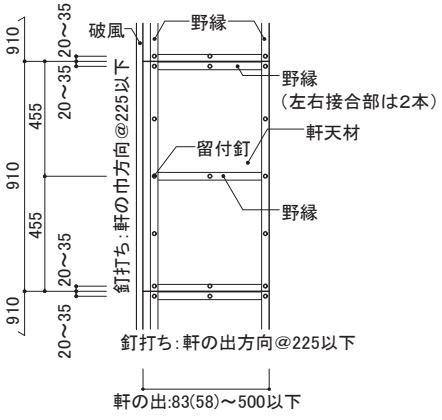


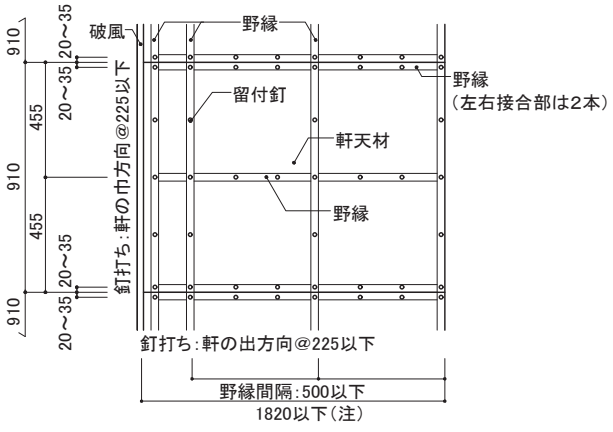
野縁平行組





野縁梯子組





（注）認定は最大寸法で取得しておりますが、製品寸法により上限値は1820㎜となります。